

**(1) 認知症看護における看護師の医療安全にかかわる  
リスクテイキング行動評価尺度の開発  
-認知症看護における看護師のリスクイメージに関する研究-**

研究の目的

認知症看護における医療安全評価尺度作成のために、認知症看護に携わっている看護師の医療安全にかかわるリスクイメージを明らかにすることを目的とした。

研究方法

首都圏内および青森県内の精神科病院に勤務し、認知症患者の看護経験を有する看護師8名を対象にPAC (Personal Attitude Construct: 個人別態度構造) 分析を実施し、認知症看護における看護師のリスクイメージの構造を明らかにした。

調査結果

- 1【リスクの早期発見とすみやかな介入】  
「援助者の介入」「リスク状況の観察」の2つのサブカテゴリーから構成。
- 2【リスクを捉える際に求められる視点】  
「援助者の考えを見直す必要」「リスクへの基本的対応」の2つのサブカテゴリーから構成。
- 3【リスクに向きあう心理的負担】  
「援助者側の問題」「リスクに直面した戸惑い」の2つのサブカテゴリーから構成。

まとめ

多くの看護師は、医療安全にかかわるトラブルに暴力を挙げており、リスクの予期に必要な視点を持つことが、長期的なリスクの予防に必要であると考えていることがわかった。また、精神科看護師のメンタルヘルスを考慮し、サポート体制を整える必要があることが示唆された。